

近未来ハイスクール開催 「働くこと」について考える

2月10日、中高生徒と社会人が「働くこと」について話す、近未来ハイスクールが中央公民館で開催されました。キャリア教育支援センター主催で、小林中学校、小林高校の生徒50人と社会人20人が参加。「自分の未来像、就きたい職業について」をテーマにワークショップを行いました（関連記事7頁）。



小林高校2年の佐々木さくらさんは「社会人の話を聞き、夢の実現のために勉強することがいかに大切か学びました」と話していました



講演では、さまざまな伝染病に関する説明があり、参加者は防疫に関する理解を深めていました

畜産の防疫意識向上を目指し 家畜防疫推進大会を開催

2月9日、家畜防疫推進大会がJAこばやしで開催されました。防疫意識の向上が目的で、畜産農家など約300人が来場し、獣医師による講演を実施。大会の最後には、三松畜産振興会の新田泰佑さんが「地域ぐるみでさまざまな疾病対策に取り組んでいきます」と力強く宣言しました。

小林秀峰高校生が市をPR こすも〜ビスケットを開発

小林秀峰高校の3年生が市のPRを目的に、観光イメージキャラクターこすも〜のビスケット6種類を開発しました。2月2日、同校生徒13人が市長を訪問し、ビスケットを寄贈。このビスケットは、農業科と機械科の農工連携による課題研究の一環で製作されました。



型枠は3Dプリンタで制作し、バター代わりに牛脂を使用しているのが特徴。今後、商業科と連携して商品化も目指します



支援物資はトラックで搬送。小林市は、石川県能登町と姉妹都市を結び、さまざまな交流を行っています

姉妹都市石川県能登町へ 支援物資を提供

姉妹都市の石川県能登町では、猛烈な寒波による水道管の破裂などで約2400戸が断水しました。これを受けて、市では、2月1日に(株)クリーン・アクア・ビバレッジのご協力により、2リットのペットボトルのミネラルウォーター2400本を支援物資として能登町へ提供しました。

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、細野地区

地域の防災力向上を目指して！

安心安全部会では、今年度10人の防災士育成を目標に活動しました。その中の1人、木島啓介さんは、「自助」「共助」「協働」を原則として、社会や地域にて防災力を高めていく活動をするための十分な意識と一定の知識・技能を習得するために防災士を取得。木島さんは、「防災・減災に努め、まずは自分や家族の安全は自分たちで確保し（自助）、地

域・職場の防災力を高めるため、「まちづくり協議会」を主とした地域の人たちと協力し、防災・減災のための啓発活動に努め、地域の防災コミュニティの形成に積極的に参加していきます（共助・協働）」と話していました。これからも、地区の防災力を高め、地域防災活動のリーダー育成に努め、安心して暮らせるまちづくりを目指します。



昨年9月に細野3区自主防災組織が設立

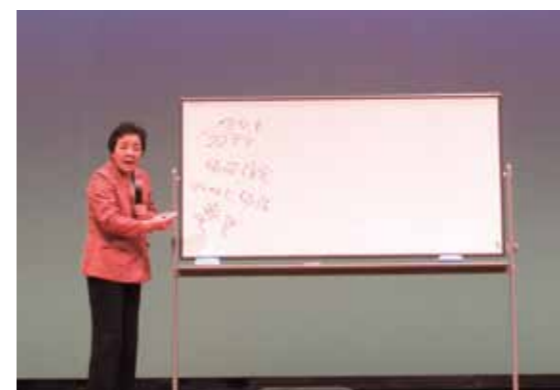


防災士の資格を活かし、地域住民の安心安全に努めています

細野まちづくり協議会
木島啓介さん

男女共同参画社会を推進 女性も活躍推進大会が初開催

2月4日、男女共同参画推進の一環で、第1回「女性も活躍推進大会」が開催されました。開会アトラクションをはじめ、元福岡県杷木町町長の中嶋玲子さんの「男性も女性も社会の担い手」と題した講演や、女性団体の活動発表を実施。その他、マルシェや牛汁の販売も行われました。



講演する中嶋さん。「九州北部豪雨で被災された経験からも、女性への信頼や専門性が必要です」と訴えていました



金婚者を代表し、小前一良さん・眞利子さん夫妻が「ここまで支えてくださった多くの方に感謝の思いが絶えません」と謝辞を述べました

住みよい福祉のまちを目指し こばやし福祉推進大会を開催

2月2日、こばやし福祉推進大会で福祉功労者表彰と金婚夫婦79組、米寿者110人のお祝いを行いました。受賞者（敬称略）＝西町二区ふれあいサロン、下九瀬サロン、宮前いきいきサロン、大丸誠子、安竹茂見、吉田郁郎、米倉武志、西水流清、小角佐藤次、大迫ツル、上之園マリ、松崎文雄、兒玉タミエ、田原昭七

エヒメアヤメ自生地で野焼きを実施

1月27日、国指定の天然記念物エヒメアヤメ自生地（生駒地区）で野焼きを行いました。エヒメアヤメを守り育てる会や地域住民など50人が参加。この取り組みは、自生地の確保拡大が目的で、同会を中心に4年前から実施しています。



九州地区スポーツ推進委員功労賞

1月20日、九州地区スポーツ推進委員研究大会で、市スポーツ推進委員協議会の原昭一郎はらしょういちろうさんが功労者表彰を受賞しました。原さんは、平成12年に同委員に委嘱され、18年間、市のスポーツ振興に尽力いただいています。



人権擁護委員2人に感謝状が贈呈

1月27日、市の人権擁護委員として、人権意識の普及と高揚に尽力した小田美佐子おだみさこさんと林文治はやしふみじさんに法務大臣感謝状が贈呈されました。二人は「委員の経験を活かし、これからも地域活動に取り組んでいきます」とあいさつしました。



PTA 研究大会で人権啓発講演会

1月27日、人権啓発講演会が、小林市PTA研究大会と合同で開催されました。PTA役員や学校関係者、市民など約300人が来場。ロンドンパラリンピックゴールボール金メダリストの浦田理恵うらたりのえさんが「夢への挑戦」と題し講演を行いました。



教育の調査・研究の成果を発表

2月16日、市教育研究センター調査研究発表会と教育研究論文・授業論文表彰式が開催されました。市内全小中学校の教職員など約350人が参加。各入賞者の表彰のほか、一席入賞者の論文発表や研究センターの調査発表が行われました。



宮崎県新人駅伝競走大会が開催

2月10日、男子第45回・女子第31回宮崎県高校新人駅伝大会がありました。小林高校と小林秀峰高校が出場し、男子は小林高校が2位、小林秀峰高校が21位。女子は、小林高校が2位、小林秀峰高校が14位でした。



地域の防災リーダーを育成

2月18日、防災リーダー講習会を野尻町農村環境改善センターで開催しました。地域住民142人が受講し、市の防災への取り組み状況、気象の仕組み、救急法や防災士の指導によるロープワークなど防災に関する基礎知識を学びました。



日本ハンドボールリーグ小林大会

2月17日、日本ハンドボールリーグ小林大会が市民体育館で開催されました。男子・トヨタ車体対大崎電気など2試合実施。試合には、市出身甲斐昭人選手かいあきひと（トヨタ車体）と木切倉真一選手きぎりくらしんいち（同）も出場し、会場は大いに盛り上がりました。

